

DX グッドストライカーの修理法（右前車輪部の摺動固定が出来ない）

2025.10.31

トミー・マック

1. 外 観

おもちゃ名は「DX グッドストライカー」です。
(株)バンダイ製で、2018年の発売です。

2. 特 徴

特撮テレビドラマ「快盗戦隊ルパンレンジャー
VS 警察戦隊パトレンジャー」に登場する、ルパン
レンジャーとパトレンジャーにダブル変形する大型
VS ビークル（車両）です。



3. 故 障

2つのビーグルに変形できるので、変形の際に無理な力がかかり、接続部・回転部・摺動部などで樹脂部品の割れや欠けなどによる故障が多いです。

今回の故障は、右前車輪部を**摺動させて固定**することが**出来ない故障**です。

4. 原 因

故障症状の分析と分解および修理過程で分かったことは、

- ・右前車輪部の摺動の固定が出来ない。→ 繰り返しの固定爪の折れ。

対応は、

- ・折れた固定爪をレバーに瞬間接着剤で仮固定し、φ2mmステンレス線を添え線とし、φ0.28mmのステンレス線を2重でレバー側面に縛り、瞬間接着剤で接着します。

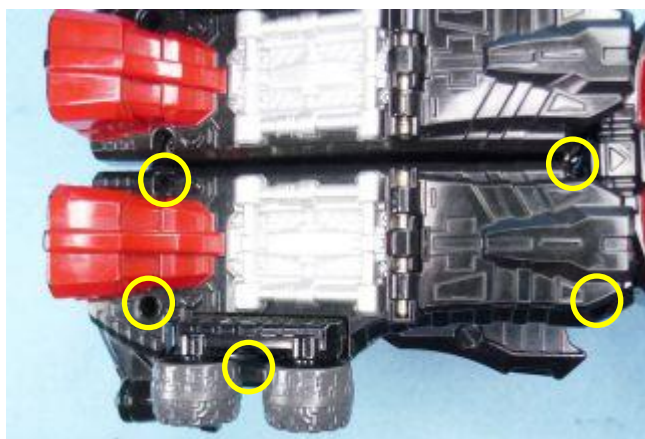
組み上げるとφ2mmステンレスと右前車輪部上部と干渉するので、干渉箇所をリューターやカッターで約1mm掘り下げました。

修理が終わり確認すると、**今度は反対の左前車輪部も同じように**、摺動の固定ができません。
壊れる直前だったのでしょう。

5. 修 理

（1）右前車輪部の分解

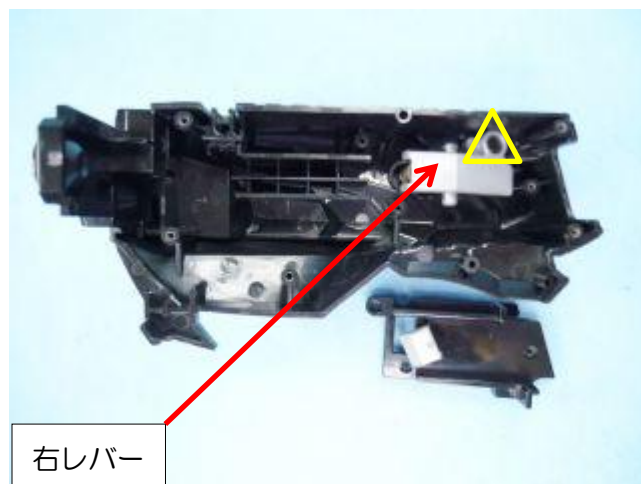
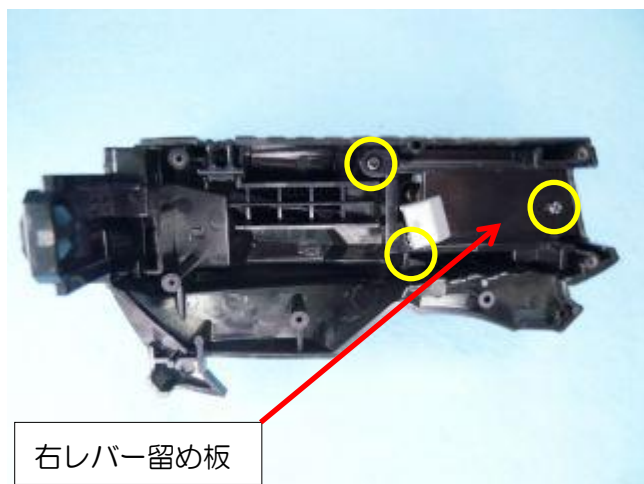
○印のネジ（タッピング 2X6）5本を外します。すると、内部に欠けた樹脂1個があります。



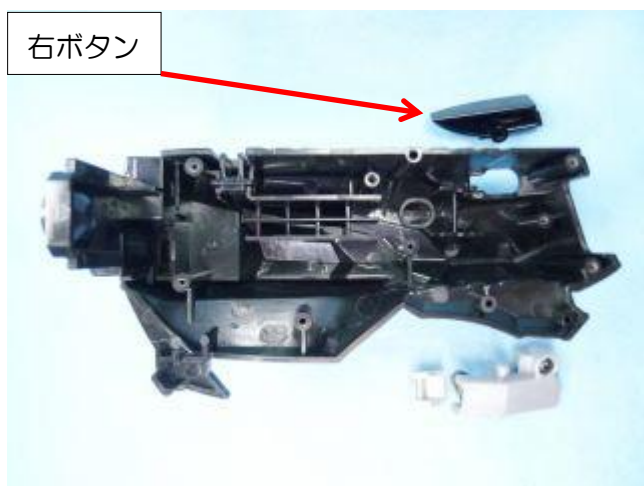
DX グッドストライカーの修理法（右前車輪部の摺動固定が出来ない）

（2）右前車輪部上側の分解

○印のネジ（タッピング 2X6）3本で右レバー留め板を外し、△印のネジ（タッピング 2.6X6）1本で右レバーを外します。



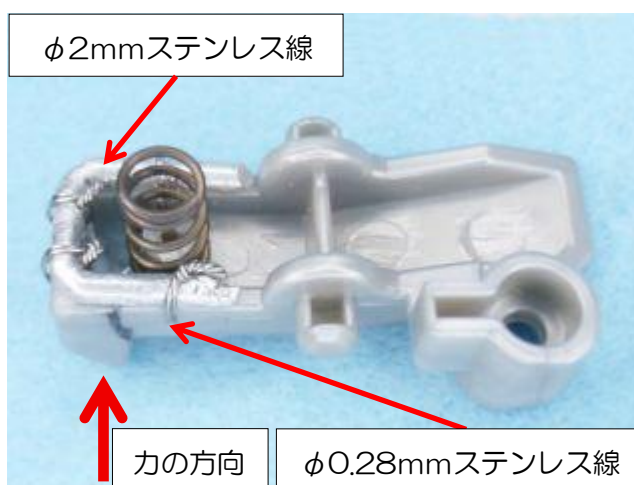
右ボタンも外れますのでなくさないように。



この右レバーの固定爪の折れが、今回の右前車輪部の摺動の固定が出来ない故障の原因です。

（3）右レバーの修理

折れた固定爪をレバーに瞬間接着剤で仮固定し、力が加わる方向を考慮し、 $\phi 2\text{mm}$ ステンレス線を添え線とし、レバー側面に $\phi 0.28\text{mm}$ のステンレス線を2重で4箇所を縛り、瞬間接着剤で接着します。



DX グッドストライカーの修理法（右前車輪部の摺動固定が出来ない）

（４）右レバーの動作確認

補強のためφ2mmステンレスをレバー底側に固定したことによる、右前車輪部上側との干渉が気になり、試しに組み上げしました。やはり干渉しており右ボタンを押し切っても、右前車輪部の柱部の固定溝から固定爪が外れず、摺動が出来ません。

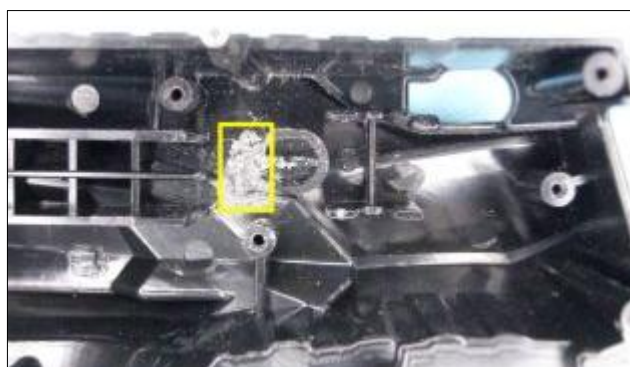
（修 理）

そこで、干渉している部分をリューターやカッターで約1mmほど削って掘り下げました。

（干渉箇所）

→

（掘り下げ加工後）



（結果） 右ボタンの固定爪で引っかかりなく、摺動に問題ありません。

これで、原因追及と **修理完了**。

（５）元に戻す

ここまでの過程を戻れば組めますので、詳細の説明を省略し、組み戻して要注意点のみ記載します。

（a）右レバーのネジ留め

右ボタンを右前車輪部上側の外から入れ、右レバーをネジ（タッピング 2.6X6）1本で留めます。

（b）レバー留め板のネジ留め

ネジ（タッピング 2X6）3本で留めます。

（c）右前車輪部のネジ留め

右前車輪部下側にステンレス軸を所定の位置に差し込み、右前車輪部上側を被せ、ネジ（タッピング 2X6）5本で留めます。

完成した状態で、動作を確認していると、今度は**反対側も同じように、摺動の固定ができなくなりました**。この機構は強度的に弱いようです。



DX グッドストライカーの修理法（右前車輪部の摺動固定が出来ない）

〔追加修理〕

（d）左前車輪部の故障の修理

右前車輪部の修理と同じ手順で修理をします。以下省略。

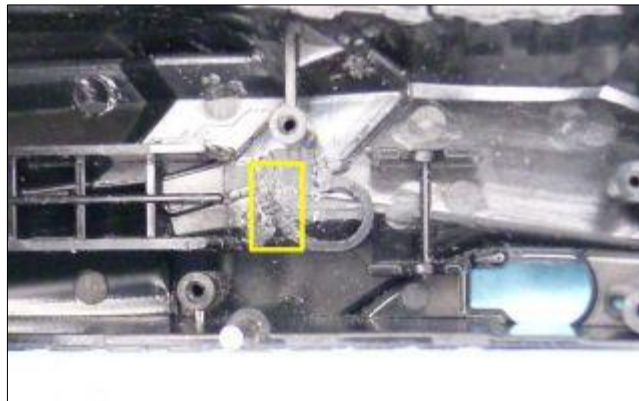
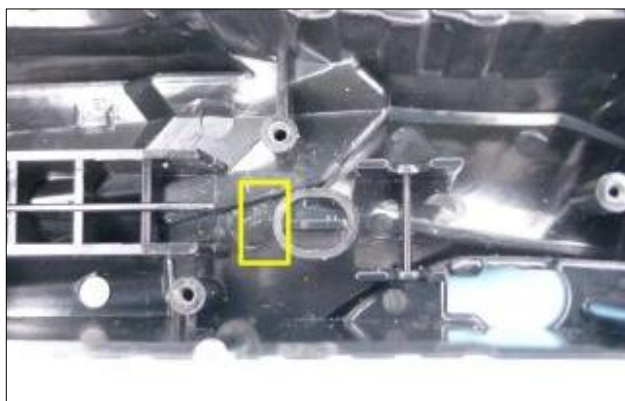


左前車輪部上側との干渉場所を約 1mmの掘り下げ加工をし、以下省略。

（干渉箇所）

→

（掘り下げ加工後）



完 成。

終わり